

平成28年泉北水道企業団議会第2回定例会会議録

平成28年 11月 2日（水）午前10時 泉北水道企業団議会第2回定例会を泉北水道企業団信太山事務所に招集した。

1. 出席議員は次のとおりである。

1番 池 辺 貢 三 議員	2番 林 哲 二 議員	3番 草 刈 与 志 子 議員	5番 中 谷 昭 議員
6番 高 橋 登 議員	7番 森 久 往 議員	8番 松 田 義 人 議員	9番 スペール・テールフィン 議員
10番 原 重 樹 議員	11番 飯 阪 光 典 議員	12番 松 本 善 弘 議員	13番 永 山 誠 議員
14番 明 石 宏 隆 議員	15番 佐 藤 一 夫 議員	16番 清 水 明 治 議員	

1. 欠席議員は次のとおりである。

なし

1. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1	議席の指定について
日程第2	会議録署名議員の指名について
日程第3	会期の決定について
日程第4 選 挙 第 3 号	議会副議長選挙について
日程第5 議会議案第5号	議会常任委員会委員並びに委員長の選任について
日程第6 報 告 第 2 号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る資金不足比率の報告について
日程第7 監査報告第9号	例月出納検査の結果について（5月分）
日程第8 監査報告第10号	例月出納検査の結果について（6月分）
日程第9 監査報告第11号	例月出納検査の結果について（7月分）
日程第10 監査報告第12号	例月出納検査の結果について（8月分）
日程第11 議 案 第 4 号	平成27年度泉北水道企業団水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

1. 地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求め出席した者は次のとおりである。

企業長	辻 宏 康
副企業長	伊藤 晴彦
副企業長	阪口 伸六
監査委員	原口 裕見
和泉市上下水道部長	森下 幸彦
泉大津市都市政策部長	重里 紀明
高石市土木部長	石川 輝之
泉北水道企業団水道事業所長	定 等
同次長	日下 博了
同参事	山口 和久
同参事兼庶務課長	中川 尚
同浄配水課長	山田 佳彦
同庶務課長補佐	岩田 伴江

1. 本会の事務局長及び職員は次のとおりである。

泉北水道企業団 次 長	日下 博了
同参事兼庶務課長	中川 尚

- 議長（林 哲二議員） おはようございます。たいへん長らくお待たせいたしました。
本日は、公私何かと御多忙のところ、早朝より本会議に御出席いただきまして誠にありがとうございます。
それでは、事務局より本日の出席議員について報告をいたさせます。
- 次長（日下 博了） 次長の日下でございます。御報告申し上げます。ただいまの議員出席数15名でございます。以上でございます。
- 議長（林 哲二議員） ただいまの報告どおり出席議員15名をもちまして、会議が成立いたしておりますので、これより平成28年泉北水道企業団議会第2回定例会を開会いたします。
会議に先立ちまして、企業長より開会にあたりましての挨拶の申し出がございますので、これを許可することにいたします。
- 企業長（辻 宏康市長） 皆様おはようございます。議長のお許しをいただきまして、一言御挨拶を申し上げます。
本日ここに、平成28年泉北水道企業団議会第2回定例会の招集をお願い申し上げましたところ、議員の皆様方には、御出席を賜り厚くお礼を申し上げます。また、平素は当企業団の運営につきまして、御支援御協力いただき、心から深く感謝を申し上げます。
さて、任期満了に伴い、去る9月11日の和泉市議会議員選挙におきまして、見事当選されました皆様方に対しまして、心からお祝いを申し上げます。また、この度、当企業団の派遣議員としてお迎えすることになりまして、心から敬意をもって御歓迎を申し上げますとともに、当企業団の運営につきまして、一層の御尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。
本日、定例会に御提案申し上げております諸議案につきましては、議会役員の改選の件を始め、資金不足比率の公表の報告並びに例月出納検査の結果報告、そして平成27年度泉北水道企業団水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定でございます。
何とぞ、慎重御審議をいただきまして、原案どおり御可決御承認を賜りますようお願い申し上げます。以上、甚だ簡単ではございますが、開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 議長（林 哲二議員） 企業長の挨拶が終わりました。
それでは、ただいまより会議に入らせていただきます。
本日の議事日程についてでございますが、あらかじめ議会運営委員会の御内意をいただいておりますので、お手元の日程により議事を進

めてまいりたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) 御異議なしのお声がございますので、お手元の日程どおり議事に入らせていただきます。

それでは議事日程に従いまして議席の指定をいたしたいと存じますが、今回、新たに和泉市から派遣されました方々がおられますので、ここで出席者全員の自己紹介をお願いいたしたいと存じます。よろしく願いいたします。

(全員自己紹介をする)

○議長(林 哲二議員) 自己紹介が終わりました。

それでは、議事に入ります。日程第1議席の指定についてでございますが、従来からの慣例によりまして、私から指名いたしたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) 異議なしのお声がございますので、私より指名いたします。

7番、森 久往 議員、8番、松田 義人 議員、9番、スペル・デルフィン 議員、10番、原 重樹 議員、11番、飯阪 光典 議員、以上のとおり定めさせていただきます。

次に、日程第2会議録署名議員の指名については、会議規則第102条の規定により、本日の会議録署名議員を私より指名いたします。

5番、中谷 昭 議員、6番、高橋 登 議員、以上の御両名をお願いいたします。

続きまして、日程第3会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期につきましては、本日1日と定めたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) 異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期につきましては、本日1日と定めることに決定いたしました。

次に、日程第4選挙第3号、議会副議長選挙についてを議題といたします。

本件は、議会副議長選挙でございますが、円満に選挙選任をいたしたいと存じます。つきましては、従来からの慣例によりまして、地方自治法第118条第2項の指名推選方式を用いまして、被指名人を当選人と定めたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) 異議なしと認め、私より御指名申し上げます。

10番、原 重樹 議員、を御指名をいたします。

お諮りいたします。原 重樹 議員を議会副議長選挙の当選人と定めることに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) 異議なしと認め、ただいま、御指名いたしました、原 重樹 議員が議会副議長に当選されました。原 重樹議員が議場におられますので、本席から、会議規則第31条第2項の規定による告知をいたします。

それでは、副議長に当選されました原 重樹 議員に就任の挨拶を自席よりいただくことにいたします。

○副議長(原 重樹議員) ただいま、副議長選挙におきまして、満場一致で私を推挙いただき誠にありがとうございます。何分にも、微力でございますが、議長を補佐いたしまして、職務に努力してまいる所存でございますので、皆様方の御指導御鞭撻のほどをよろしくお願いを申し上げます。甚だ簡単ではございますが、就任の御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長(林 哲二議員) 挨拶が終わりました。

続きまして、日程第5、議会議案第5号議会常任委員会委員並びに委員長の選任についてを議題といたします。

本件については、あらかじめ御内意をいただいておりますので、私より御指名申し上げたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) 異議なしと認め、私より御指名申し上げます。

総務委員会委員には 10番、原 重樹 議員、11番、飯阪 光典 議員、水利開発委員会委員には、7番、森 久往 議員、8番、松田 義人 議員、9番、ス
ペル・デルフィン 議員、水利開発委員会委員長には、8番、松田 義人 議員、以上のとおり選任することに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) 異議なしと認め、ただいま御指名を申し上げましたとおり、それぞれ選任されました。

次に、日程第6報告第2号「地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る資金不足比率の報告について」を議題といたします。本件につきまして、理事者より説明をお願いいたします。

○所長(定 等) 所長の定でございます。

ただいま、議題となりました報告第2号「地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る資金不足比率の報告について」御説明申し上げます。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により、平成27年度泉北水道企業団資金不足比率の御報告申し上げます。その内容でございますが、報告第2号に記載のとおり水道事業会計につきましては資金不足が生じておりませんのでバー表示としております。以上、簡単ではございますが、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る資金不足比率の報告とさせていただきます。

○議長(林 哲二議員) 報告が終わりました。本件について質疑はございませんか。

(なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) ないようでございますので、本件は以上をもって終結いたします。

続きまして、日程第7監査報告第9号例月出納検査の結果についてより、日程第10監査報告第12号例月出納検査の結果についての4議案はそれぞれ関連がございますので、一括議題とさせていただきます。

本件につきましては、すでに議員各位に御送付を申し上げておりますとおり、平成28年5月分から平成28年8月分の各月末現在の現金出納状況等の結果報告でございます。

つきましては、お目通し願っておることと存じますので、何か御質問等ございませんか。

(なしの声あり)

○議長(林 哲二議員) ないようでございますので、本件につきましては、これもちまして終わらせていただきます。

続きまして、日程第11、議案第4号平成27年度泉北水道企業団水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてを議題といたします。

それでは、事務局より提案理由の説明を願います。

○所長（定 等） 所長の定でございます。ただいま、議題となりました議案第4号、平成27年度泉北水道企業団水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について御説明申し上げます。

まず、平成27年度泉北水道企業団水道事業会計剰余金の処分について申し上げます。

決算書の7ページをお願いいたします。

地方公営企業法第32条第2項に基づく平成27年度泉北水道企業団水道事業の利益の処分につきましては、当年度純利益から20分の1をくれない額1,070,000円を利益積立金として積み立て、繰越利益剰余金を347,442,352円とするものでございます。

次に13ページの平成27年度泉北水道企業団水道事業報告書をお願いいたします。

まず、総括事項 イ の財政状況でございますが、本年度の事業収益、341,520,432円に対しまして、事業費用、320,300,446円となり、収支差引、21,219,986円の純利益となったものでございます。これに前年度繰越利益剰余金327,292,366円を合わせますと、当年度未処分利益剰余金は、348,512,352円となったものでございます。

一方、資本的収支でございますが、収入はございません。

支出につきましては、施設整備事業で、30,685,133円でございます。この支出額は収入がございませんので全額不足額となりますが、過年度分損益勘定留保資金 28,412,160円と当年度分消費税資本的収支調整額2,272,973円をもって補てんいたしております。

次に、ロ の送水状況でございますが、本年度の年間総水量は5,951,450^m³（1日最大19,180^m³、1日平均16,261^m³）で対前年度比では約2.3%（135,800^m³）の増量となり、当初計画水量5,900,000^m³に対して、約1%（51,450^m³）の増量となったものでございます。

それでは決算内容について御説明申し上げます。

戻っていただきまして、1ページをお願いいたします。

まず、収益的収入及び支出でございますが、収入から申し上げますと、第1款、水道事業収益予算額合計365,630,000円に対しまして、決算額は368,790,160円となっており、予算額に比べ決算額は3,160,160円の増となっております。

この内訳は、第1項、営業収益で決算額367,656,758円、第2項、営業外収益で決算額1,133,402円となっております。

次に2ページ目をお願いいたします。

支出につきましては、第1款、水道事業費用、予算額合計356,602,000円に対しまして、決算額は345,110,216円で不用額は11,491,784円となっております。

なお、不用額の主なものは、浄水及び送配水費、総係費、議会費等の減少によるものでございます。事業費用の内訳でございますが、第1項、営業費用で原水費、人件費、動力費、薬品費等の送水に係る費用として、決算額330,597,174円、第2項、営業外費用で、消費税納付額及び議会費等として、決算額14,513,042円、第3項、予備費につきましては、決算額はなく、全額不用額となっております。

続きまして、3ページの資本的収入及び支出につきまして申し上げます。

まず、収入についてでございますが、収入はございません。

一方、支出についてでございますが、第1款、資本的支出、予算額合計123,669,417円に対し、決算額は、30,685,133円で、その内訳は、取水ポンプ室及びコントローラー室防水工事が主なものでございます。不用額は92,984,284円でございます。

従いまして、収支差し引きいたしますと、30,685,133円の不足額が生じておりますが、前段で申し上げましたように、過年度分損益勘定留保資金28,412,160円及び当年度消費税資本的収支調整額2,272,973円で補てんいたしました。

以上が、平成27年度決算の概要でございます。また、前年度と同様、消費税に係る決算の処分について、決算報告書は税込で、損益計算書については税抜で行ったものでございます。

なお、決算書4ページの損益計算書以降につきましては省略をさせていただきます、13ページ以降に決算書附属書類等を添付しておりますので、御参照賜り、よろしく御審議の上、御認定下さいますようお願いいたします。

○議長（林 哲二議員） 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

（挙手する者あり）

○6番（高橋 登議員） 6番、高橋でございます。2点程ちょっと聞かせていただきたいんですけども、ただ今、御説明をいただきました、財政記録の中でも説明をいただいたんですけども、施設整備事業ということで計上がされておりますけれども、この施設整備というのは内容的にどういう内容の施設整備が行われたのかということ、まずお聞かせをいただきたい。というふうに思います。

さらに、3ページの方で資本的収入額、資本的支出額に不足する3,000万程の計上がありまして、資本的支出のすべてが、建設改良費ということで計上をされておりますけれども、こういう形でいいのかどうかということ、ひとつお聞かせをいただきたい。

同時に建設改良費については、これは施設整備も含めて建設の改良にかかわる費用だというふうに認識をしておるわけでありまして、そういった意味では、今後、この会計の中で積み立てていくということの計画というものはあるのかどうか、この点もお聞かせをいただきたいというふうに思います。

同時に、決算の部分にも関わる話ですけども、今回、国の方の公営企業会計の変更がなされておまして、私、実は久しぶりに、泉北水道企業団のほうに派遣をいただいております、前年度、前々年度の経過については十分に認識をしておらないところでありまして、もうすでに、報告がなされておるだろうというふうに思うんですけども、改めて、この会計のほうのですね、どのように従来と変わってきたのかということについて、少し御説明をいただければありがたいなと、いうふうに思っております。

以上、よろしくお願いをしたいというふうに思います。よろしく。

○所長（定 等） 所長の定でございます。

まず1点目の整備事業についてでございますけれども、何をやったのかという質問ですけれども、当企業団にあります浄水処理をする、緩速ろ過池が6池あります。これにコントローラー室というのがございまして、そのこの部分の部屋の老朽化に伴う改修工事でございます。これが6箇所あります。

次に2点目として4条の方の資本的支出の部分について、その部分を同じような整備事業ということで、施設は老朽化してますので、その辺のところの整備ということで、内容はそれで行っております。

○参事兼庶務課長（中川 尚） 参事兼庶務課長の中川でございます。

先ほど、高橋議員さんから質問がありました、資本的支出の建設改良費がこれでいいのかという質問でございましたが、公営企業会計上、建設改良費というのは資本的支出で支出をすることになっておりますので、このような経理をさせていただいております。

それと、4点目、会計基準の見直しでございますが、今まで工事関係、起債、補助金等で頂いた金銭をですね、それを未処分利益剰余金のほうに振り替えなさいという指導がありまして、それに関しても、泉北水道としても、そういうふうな形で、未処分利益剰余金のほうに振り替えさせていただいております。

あと、利益積立金も出てくるんですけど、これも会計基準の見直しで、積立は任意となったのでございます。1/20をくだらない額というのが任意となったのでございますが、公営企業会計は継続性の原則というのがございまして、前年度から続いていることを無暗に変更はしてはならないということがございますので、企業団としましては、任意となりましたが1/20積立させていただいてる、ということでございます。以上でございます。

○6番（高橋 登議員） はい、ありがとうございます。

整備の内容については御説明をいただきました。まあ特に本企业団の場合、これから整備をしていく部分が多々出てくるだろうというふうに思いますけれども、そういった意味では、今回、部屋の老朽化に伴う部分で6箇所の整備を行ったという説明をいただきました。

ちょっと答弁が漏れておったのではないかとこのように思いますけれども、今後、どの会計の部分で、この整備の改良をしていくのかということになるというふうに思うんですけど、特に公営企業会計の場合ですね、建設改良費で積み立てて、それを取り崩しながら整備をしていくという考えがあるかというふうに思うんですけども、そのこの部分についての答弁が無かったように思うので、改めて御答弁をいただきたいというふうに思います。

同時に併せて、再度の質問をしたいというふうに思いますけれども、4点目に質問させていただいた、未処分の剰余金、ここで計上されております、348,512,352円ということでもありますけれども、この部分は実態のない金額ということで、これを見たら、なかなか解りにくい、

実際に3億4800万も金があるのか、というような誤解をする人がおろうかというふうに思うんですけども、この見かけの部分の改めての説明が必要ではないかというふうに思うんですけども、これはあくまでも見かけ上のお金だということですのでね、明確にしておく必要があるのではないかということ、改めて申し上げたいというふうに思いますけども、この部分の計上の仕方について、なんらかの工夫というんですか、今後の解りやすい表示の仕方というものを考えておられるのかどうか、この点についても、改めてお聞かせをいただきたい。改めては2点、お願いしたいと思います。

○参事兼庶務課長（中川 尚） 参事兼庶務課長の中川でございます。

建設改良費の積み立てというお話でございますが、これは会計基準の見直しの前に、修繕費の積み立てというのがあったのでございますけども、それは会計基準の見直しによりまして無くなりました。そういうのは新しい企業会計にはそぐわないんじゃないかという声がありまして、どの企業体も、残っているところはあるんですけども、新たに積立というのはしていないというのが、講習会でうかがっております。

それと、2点目は実際に高橋議員さんが仰られますように、実際の現金はこんなに持っていないんですけども、それは決算書の12ページでございます、キャッシュフロー計算書を御覧いただきたいとおもいます。ここの一番下のキャッシュの期末残高がございまして、それが268,200,814円ということで、これが全部の現金でございます。これで表してますので、見かけと離れておりますが、ここを見ていただいたら、解るといふふうになっておりますので、よろしく願いいたします。

○6番（高橋 登議員） ありがとうございます。

丁寧に説明をいただき、当企業団については、この建設改良費で積み立ててですね、整備費等を支出しているという構造をとらないと、ということで、従来もそういう形だったと認識をしておるんですけども、この建設改良費の運用の仕方の部分で、多岐においてはですね、他の企業団あるいは事業所においては、そういう建設改良費の運用の仕方、それを取り崩しながら整備をすすめていくという考え方もあろうかというふうに思いますので、御提起をさせていただいた部分であります。

そういうことで了解をしたいというふうに思います。最後に質問をさせていただきました、未処分の利益剰余金でありますけれども、事務局の方は当然のこととして、この部分と、この部分が対比をしておって、数字的には解るといふ認識なんだろうけれども、これを見る部分にとってですね、より親切に、もう少し解りやすい表現を考えていただきたい。ということ、改めて要望をさせていただいて終わってまいります。

○議長（林 哲治議員） 他に質疑はございませんか。

(なしの声あり)

- 議長（林 哲二議員） ないようでございますので、質疑を終結いたします。
これより、討論に入ります。討論のある方は挙手願います。

(挙手するものなし)

- 議長（林 哲二議員） 討論なしと認め、討論を終わります。
これより採決いたします。お諮りします。

日程第11、議案第4号平成27年度泉北水道企業団水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について、原案どおり認定することに、御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

- 議長（林 哲二議員） 異議なしと認め、日程第11、議案第4号平成27年度泉北水道企業団水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定については原案どおり認定することに決定いたしました。

以上をもちまして、すべての議案審議が終了いたしました。慎重御審議をいただきありがとうございます。

閉会にあたりまして、企業長より挨拶の申し出がございますので、これを許可いたします。

- 企業長（辻 宏康市長） 閉会にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日は御出席を賜り、また、ただいまは、すべての議案につきまして、原案どおり御可決御承認いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本年度の送水状況でございますが、夏季・秋季の効果的な降雨により、順調に送水ができております。今後も職員一丸となって、原水確保と安定送水に努めてまいりたいと考えております。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、これから朝・夕の寒さも増してまいります。議員の皆様方におかれましてはどうか御自愛をいただきまして、ますます御活躍されますよう心より御祈念申し上げます、閉会にあたりましての、挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

- 議長（林 哲二議員） 企業長の挨拶が終わりました。

以上で平成28年泉北水道企業団議会第2回定例会を閉会いたします。慎重御審議いただきまして、ありがとうございました。

閉

会

平成28年11月2日 午前10時34分 閉会

会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

会議録署名議員

泉北水道企業団議会議長

林 哲 二

泉北水道企業団議会議員

中 谷 昭

泉北水道企業団議会議員

高 橋 登